

『WAO!』に新たなプロジェクトチーム誕生

過日の「生きがい部会」の会議で、メンバーから

和田町には、一年を通して多くのサーファーが訪れている。しかし、駐車に問題があったり、住民とサーファーとの意思の疎通が殆どなかったりと、両者の関係が必ずしもうまくいっているとはいえない。今やサーフインは、国民に広く認知され、それを楽しむ人口も大幅に増えている。サーファーにとって良好な環境を作ることには、地域振興の重要な要素の一つと言える。従って、サーフィン関係者との意思疎通や協働が、今の和田地域にとって大切なことだと考える。この課題に、是非『WAO!』で取り組んで欲しい。

この意見が出されました。



日本有数のサーフスポット、これは確かに貴重な財産です。この自然環境を良好に維持していくことは、私たち地域住民の使命だとも言えます。近年、地元のサーフショップの呼びかけで、和田を訪れるサーファーたちも海岸のゴミ拾い（ビーチクリーン）活動などに積極的に参加するようになっていきました。彼等にとっても、サーフポイントの消失や海岸の環境悪化は大きな問題だからです。しかし現在でも、地域住民とサーフィン関係者との間で、お互いがどのような思いを持ち、どのような活



ビーチクリーンをする来場者たちの様子

動をしているのか、十分な話し合い等が持たれていません。

そこで、私たち和田地域づくり協議会『WAO!』では、「和田町がこれからも多くの人達が訪れ、サーフィンを楽しむ良好な環境を保つ」ために、「地域住民にとってもサーファーが訪れることやサーフィンが盛んになることが有益である」ために、私たちなりの支援活動が出来ないか探っていくことにしました。

しかし、サーフィンに係わる課題が多岐にわたると思われるので、単一部会の活動とするのではなく『WAO!』全体からメンバーを募り、プロジェクトチームを作ることになりました。メンバーは、三部会から二人ずつということになり、全部で六人です。



先日、早速第一回目の会議が開かれました。そこで、メンバーそれぞれの考えが出し合われ、これからの活動について話し合いが持たれました。その中で、まずサーフィンに係わる活動がどのように行われているのか、実際に見学・体験をしてみようということになりました。そして、7月25日に行われた「和田浦サマーフェスティバル」の「ビーチクリーン」活動に参加してきました。

今後、このプロジェクトの名称や代表決め、方針決め等を行い、具体的な活動に入っていくこととなります。



ビーチクリーンに参加した『WAO!』の会員たち

第2回『寺子屋講座』が開催されました!

テーマは

『和田のサークル・ボランティア活動を考える』

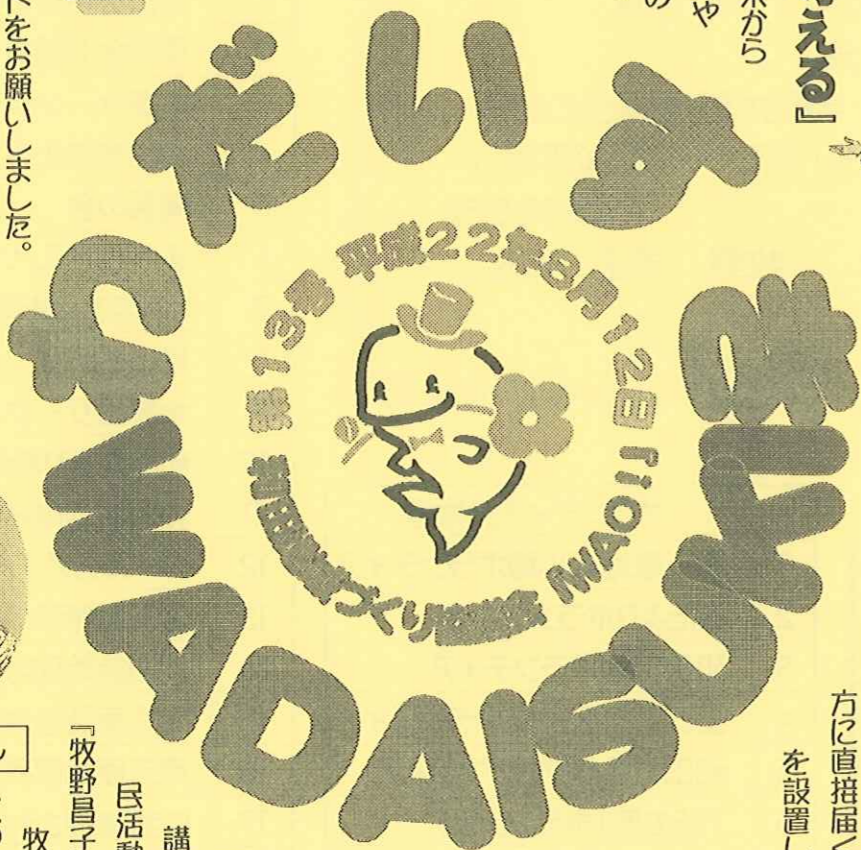
ボランティア活動を考える

和田地域づくり協議会『WAO!』では、従来からの和田地域の良さである活発なサークル活動やボランティア活動が、これからも地域づくりの一つの核となっていくことを考えています。しかし、南房総市になった現在、それらが「どのように行われているのか」、「課題があるのか」等、地域に十分に理解されていないのではないかと、疑問も持ちました。そこで、「和田町のサークル・ボランティア活動の現状を把握し、地域に発信すると共に、それらの活動の充実や継続を支援する」と、それが、生きがい部会の活動テーマの一つとなりました。

まず、アンケート調査をしました

サークルやボランティア団体に、アンケートをお願いしました。内容は、そのグループの「ねらい（願い）や良さ（アピールポイント）」活動内容や活動日「人数」「自由意見」などです。

これらをまとめ、地域住民が多く出入りする公共施設に展示し、サークルやボランティア活動の状況を知ってもらおうというものです。



次に、各グループに取材に入りました

グループから届いたアンケートを元に、「WAO!」のメンバーがビデオカメラを持ち込み、活動の様子を撮影したり、インタビューをしたりしました。活動を動画で伝えることにより、それぞれの良さが見る方に直接届くと考えました。寺子屋講座当日、スクリーンを設置し、上映する予定です。

講演会を企画しました

これからの和田地域のサークル・ボランティア活動の更なる充実や、地域での支援のあり方を考えるために、講演会を予定しています。

演題は、「過疎化・高齢化が進む地域社会におけるサークル・ボランティア活動の現状と支援のあり方」です。

講師は、NPOクラブ千葉市民活動の代表理事をしている「牧野昌子」さんです（左の写真）。

牧野さんとそのNPOは、多くの地域づくり活動に係わり、それらの団体の活動支援を積極的にを行っています。地域の皆様のご参加をお待ちしています。



牧野 昌子 さん

発行者 南房総市・和田地域づくり協議会『WAO!』
 連絡先 南房総市役所和田支所内
 地域づくり支援員 田島和幸 白井砂千代
 支援員 0470-47-5955
 支所 0470-47-3111
 FAX 0470-47-4181(支所)

アンケートからこんなことが!!

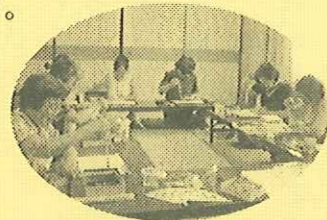
和田地域には、多くのサークル・ボランティア活動がある!

現在、和田地域で活動しているサークルは28団体、ボランティア団体は17団体です(『WAO!』調べ)。南房総市に移行した現在も数多くの団体が存在し、活発に活動が続いていることが分かります。そしてアンケートには、「楽しく活動している」とのコメントが多く書かれていました。



活動には、圧倒的に女性の参加者が多い!

アンケートの答えが返ってきたサークル、ボランティア活動の男女別のべ参加人数を見てみると、次のようになります。



サークル活動		ボランティア活動	
男性	女性	男性	女性
53	173	20	250

サークル活動では女性が男性の3倍以上、ボランティア活動では女性が男性の12倍以上という割合です。そして、各サークルやボランティア団体のメンバーの内訳を見てみると、複数の団体に参加している女性が数多くいることも分かります。女性の生きがいづくりや社会貢献意欲の高さを感じます。

やはり、サークル・団体の平均年代は高い!

サークル・ボランティア団体の平均年代は、次のようになっています。

平均年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
サークル団体	2			1	1	7	10
ボランティア団体				1	2	8	3

※年代(何十歳代)の記入のあるもの、及びこちらで年代が判断できた団体のみを記入してあります。

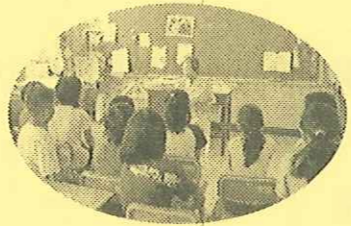
サークル、ボランティア活動団体の平均年代を見てみると、圧倒的に60歳代・70歳代が多いことが分かります。また男女の比率を元に考えると、和田地域のサークル、ボランティア活動を支えているのは60歳代~70歳代の女性ということになります。

女性の方が、生きがいづくりが上手!?

確かに50歳代までは、家庭では子育ての最中であつたり、企業や団体等での中核的存在であつたりします。家事・育児や就業時間外での余暇活動や地域奉仕参加を、十分行うという余裕はなかなか持てないのが実情だと考えます。しかし、60歳代~70歳代の女性達は、その後の生活を上手に楽しんでいると言えます。

そして、気にかかることは?

一方、メンバーの年齢が上がってきたために、現在活動休止中という団体も出てきているようです。各団体の4~5年後の活動状況がどうなっているのが、気に掛かるところです。また、多くの60歳代以上の男性の居場所や生きがいづくりがどのように行われているのかも、大変興味深いところです。



第2回 寺子屋講座

- 日時 8月28日(土)
午後1時30分から
- 場所 地域福祉センター
『やすらぎ』

- 内容
 - (1) 活動内容の紹介
 - ★ アンケートのまとめ掲示
 - ★ 取材VTRの上映
 - (2) 講演
 - 『過疎化・高齢化が進む地域社会におけるサークル・ボランティア活動の現状と支援のあり方』
- 講師 牧野 昌子 さん



和田地域の 公民館サークル 及び ボランティア団体名

	公民館サークル名
1	和田町民舞の会
2	扇祥会(民舞)
3	書道サークル
4	和田書道の会
5	陶芸の会
6	すみれ会(レザークラフト)
7	和田浮書絵彫同好会
8	掛け軸教室
9	水墨画サークル
10	和田ちぎり絵の会
11	和田囲碁同好会
12	コールカメラ(合唱)
13	南三原詩吟の会
14	和田詩吟同好会
15	北三原詩吟教室
16	南三原民謡教室
17	仁我浦おはやし練習会
18	三原正晴会
19	カラオケの会
20	和田カラオケ愛好会
21	北三原絵手紙教室
22	ジャズダンス
23	和田キッズリズムミック
24	千鳥の会
25	カラオケの会
26	和田カラオケ愛好会
27	和空会(空手)
28	和田町刀剣愛好会

	ボランティア団体名
1	北三原地区小域ボランティア
2	おたよりボランティア
3	和田朗読ボランティア
4	上三原地区小域ボランティア
5	和田町手作りボランティア
6	「花の里」ボランティア
7	ふれあい喫茶「なごみ」
8	童謡と唱歌を歌う会
9	和田地区小域ボランティア
10	民舞の会
11	南三原地区小域ボランティア
12	扇祥会
13	南三原おもちゃと絵本の図書館
14	なみはらっ子クラブ
15	北三原植栽ボランティア
16	防犯パトロール隊クーちゃん
17	和田キッズリズムミック

多くの団体が、新たにメンバーを募集しています!

